



海事レポート
2014

海事レポート 2014

船が動く。世界が動く。

船が動く。世界が動く。

国土交通省海事局



MLIT Maritime Bureau Annual Report 2014



国土交通省
海事局

はじめに

今年も夏を迎え、新たな「海事レポート」を皆様にお届けします。

我々国土交通省海事局では、本年、2014年を「政策の年」と位置付け、海事行政の総点検を行っております。海事行政と一口に言っても、その内容は海運・船舶・船員と多岐にわたります。これは、とりもなおさず海事産業・海事クラスターの規模の大きさ・多様さを反映しているわけですが、この歴大な海事クラスターが我が国の経済や暮らしに果たしている役割の重要性は、改めて強調するまでもありません。このため、我々としても、行政が社会経済のニーズの変化・要請に適切に responding しているかを常に検証し、新たな課題に的確に対応することが不可欠です。

このような趣旨から海事3分野の三位一体の総合力を発揮すべく、局の総力を挙げて対応方策を検討・実行しています。

一例を申し上げますと、本書の冒頭の「海事局最前線」でご紹介している、シェールガスの市場への出現やパナマ運河の拡張等のグローバルな変化に対応し、低廉かつ安定的な資源確保に貢献するためのエネルギー輸送の多様化への対応。あるいは、世界的な海洋資源開発マーケットの拡大を踏まえ、我が国の海運・造船業からの国際市場参入促進のための取組が挙げられます。こうした新たな海ともいえる新分野への前進と同時に、これまで日本の海事クラスターが培ってきた技術・サービス・人材育成についての強みを磨き上げていくことも重要です。

「船が動く。世界が動く。」という本書の副題には、人を導き、あるいはさまざまなモノを運ぶことで、我々が生きるこの世界を津々浦々から回し、動かし続ける原動力である「船」のダイナミズムがつまっています。身近でありながら、しかし同時に日常から縁遠い存在になりがちな「海」や「船」に対して、読者の皆様が新たなスポットライトを当て、見つめ直していただくきっかけとなれば幸いです。



国土交通省海事局長 森重俊也



【表紙の写真】

新型内航用練習船「大成丸」の就役と、それを祝福する帆船「日本丸」

(独)航海訓練所の練習船で、4代目となる「大成丸」が2014年4月に就航した。就航式では、帆船「日本丸」がセイルドリルを披露し、新たな内航用練習船の船出に華を添えた(詳細は本文p.58)。



【裏表紙の写真】

大阪・道頓堀
「とんぼりリバークルーズ」

大阪・道頓堀では、河岸が改修され賑わいが増した水辺を、一本松海運(株)の運航する「とんぼりリバークルーズ」の遊覧船が行き交い、多数の外国人観光客を含めた乗客は、水の都・大阪の新たな一面を思い思いに楽しんでいる(詳細は本文p.86)。

海事局 最前線

I エネルギー輸送ルート
の多様化に向けた取組 004

II 海洋開発市場の獲得に
向けた取組 016

III 2020年東京オリンピック・
パラリンピック開催に向けて
020



海事レポート 2014 CONTENTS

第II部 海事の現状とその課題

第1章 海上交通分野	120
第2章 船舶産業分野	188
第3章 船員分野	206
第4章 海上安全・保安の確保と環境保全	222
第5章 小型船舶の利用活性化	242
第6章 モーターボート競走	248



第I部 海事行政の重要課題

第1章 使いやすい地域公共交通の実現 024

第2章 安定的な国際海上輸送の確保 030

○海上安全・保安の確保への取組 ○トン数標準税制 ○国際的な環境変化に対する対応

第3章 我が国産業を支える内航海運の基盤強化 038

○環境特性を生かしたモーダルシフトの推進 ○船舶管理会社を生かしたグループ化の促進

第4章 造船産業の国際競争力の強化 042

○造船市況の変化 ○我が国造船業の競争力強化

第5章 海洋産業の戦略的育成 050

○海洋資源開発をめぐる現状 ○海洋資源開発関連技術の開発支援
○海洋資源開発プロジェクト獲得に向けた官民の取組
○次世代海洋資源調査技術(海のジバング計画) ○浮体式洋上風力発電の導入促進

第6章 海洋立国を支える人材の確保・育成 056

○船員の確保・育成 ○船員の労働環境の改善に向けた取組

第7章 海事振興の推進 062

○海事産業に対する国民の理解増進の必要性 ○海事産業に対する国民の理解増進に向けた対応

第8章 観光立国推進に向けた取組 072

○インバウンド政策の現状と海事局における取組 ○クルーズの振興
○外航旅客定期航路の活性化 ○既存内航航路のポテンシャルの引き出し
○新たなマリレジャービジネスの振興

第9章 環境問題への取組 088

○国際海運におけるCO₂排出量削減・抑制対策 ○船舶からのNox削減対策等の推進
○船舶からのSOx排出削減規制 ○天然ガス燃料船の早期実用化に向けた取組
○バラスト水の適切な管理による海洋生態系保全の推進

第10章 安全・安心の確保や東日本大震災からの復興のための取組 102

○海難等の動向 ○総合的な海上安全確保のための取組
○旅客及び船舶の津波避難体制の改善 ○大規模災害時の船舶の有効活用
○津波救命艇の普及・開発

第11章 国際展開・国際貢献 114

○国際機関への対応 ○日本企業の海外展開支援 ○海事当局間の意見交換